

マット導入！ - 西日本防災システム

2013 09 01

2013年5月に下高井郡山ノ内町で発生したホテル火災で、5階に取り残された経営者夫婦を救出することができなかったことを受けて、同町と中野市でつくる岳南広域消防組合は本年度、高さ15メートルから飛び降りた人でも受け止めることができる**マット**などを導入するそうです。町内には5階以上の宿泊施設はたくさんありますが、同組合消防本部にははしご車がないそうです。高額なため配備のめどは立っておらず、現実的な対策を進めていく一環だそうです。

8月31日、このマットを同町で開いた総合防災訓練で町民に公開したそうです。マットは上から見ると八角形で縦、横4・5mほどだそうです。ポンペで空気を送り込むと1～2分で厚さ2・2mに膨らむんだそうです。5階相当の高さ15メートルから体重約110キロの人が飛び降りても包み込むように受け止められるそうです。同組合によると、高さ15メートルに対応したマット導入は県内では珍しいそうです。

建物の窓などから地上へ斜めに張るネットも併せて導入する方針だそうです。長さ25メートル、幅5メートルで、建物に取り残された人に滑り降りてもらおうようです。費用はマットが1個約250万円、ネットが約35万円。10月の組合議会に提案するそうです。

旅館がたくさんありますと、**火災**はほんとに心配ですね。万が一の時の心強い避難ツールとなりますよう お祈りいたしております。

映像は信毎WEBより

こんな形だそうです。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ ➡